



Nagoya GRAMPUS



名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ
 NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU
 NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 Positive Commitment to Practical Action 「さあ！実行のとき」
 アジア会長標語 Friendship & Peace Forever 「友情と平和を永遠に」
 西日本区理事標語 「Positive Commitment to Practical Action 「さあ！実行のとき」」
 中部部長標語 「今こそ地域へ伸びようYワイズ」
 クラブ会長標語 「地域とともに」 広げようワイズの輪
 <今月の聖句>

1998年10月号

「心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。わたしの父の家には、住む所がたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言っただろうか。」
 ヨハネによる福音書 第14章 1節～2節

第一例会の欠席は当月のアウト（高田 士郎）に必ず連絡すること

1998年10月例会のご案内

◎ 第一例会

◎と き：10月13日（火）19時より
 ところ：名古屋YMCA 407号
 卓話：YWCAって何
 講師：葛井 康子



◎ 第二例会

と き：10月27日（火）19時より
 ところ：名古屋YMCA 407号
 ◎中部部会実行委員会
 と き：10月6日（火）19時より
 ◎11月1日（日）名古屋YMCA パザー
 ところ：名古屋YMCA
 ◎チャリティーラン
 と き：11月14日（土）
 ところ：名城公園 集合AM9:00

第一例会報告

今回は以前吉田一誠さんの壮行会でお目にかかった大同メタルに勤務されるティムアレンさんのお話。

まず驚いたのは、彼は公演原稿を用意されていたことでした。日本での生活が長く、日本語が理解でき話すこともできるティムさんだが、やはり外国の方にとっては難しい日本語。話の真意が聞き手に伝わらないと失礼と、奥様に協力していただいた翻訳付きの原稿でした。服部会長の同時通訳（もどき）もさまになって、ティムさんの感じた日本観に考えさせられる部分もあり、英会話の勉強にもなりました。日本に来たのは学生の頃。お父さんの「日本に行くとい

い」の一言で日本の大学に入学され、昔はjapanバッシング派だったのが今は親日派とか。ちなみに奥様は日本人。しかし



今でもよく理解できないのが日本企業の考

1998年10月1日

え方。特に家族的組織観。日本の組織観については私も日本人でもよく理解出来ない部分が多いものです。逆に私が理解できないのはティムさんの言うアメリカでのセクハラ問題。アメリカの男性諸氏は今大変な環境下に置かれているようです。どうして女性に優しくしちゃいけないの！

ティムさんとの話は二次会・三次会へと続き、複雑な内容は高田兄の(本物の)同時通訳で楽しい一時を過ごしました。みなさんこれを機会にもっと韓国語・英語を勉強しましょう。

荒川



中部部会からの報告

第二回中部部会に出席

場所 長島温泉 花水木

日時 8月29日(土)

11:00-15:00

出席 加藤道、荒川、坂倉、坂口、坂野、服部

服部の会社前で集合、荒川号で一路長島へ、途中心配していた渋滞もなく無事会場へ到着。すばらしい会場で伊藤西日本区理事ほか多数の役員を来賓に迎え、まず評議会が始まる。前年度の各報告と本年度の計画の後、次期部長に我が加藤道子姉、次期ホストクラブにグランパスが確認されました。いよいよ「始まるんだ。」と気の引き締め

る思いです。また次次期部長は金沢地区で検討することも確認されました。

記念講演は三重大学助教授、朴恵淑先生の「身近な環境問題と我々の役割」と題して身近に迫る環境破壊の恐ろしさ和我々の出来る事は何かを考えさせられるお話をうかがいました。

フェロシップアワーでは期待に反せず豪華な料理に舌づつみ、満足感の中で各クラブのアピール。グランパスは来年の中部部会の第一報を大々的にアピールしました。盛沢山のドアプライズのあと加藤道子姉の次期部長としての力強い挨拶があり、並々ならぬ決意のほどに参加者一同より多くの拍手、声援をいただきました。

帰路の車中では皆で来年の部会の構想など楽しく語り合いながら、ほろ酔い気分で名古屋に向かう事が出来ました。ホストの四日市クラブの皆さん、ありがとうございました。来年の8月22日には名古屋でまたお会いしましょう。

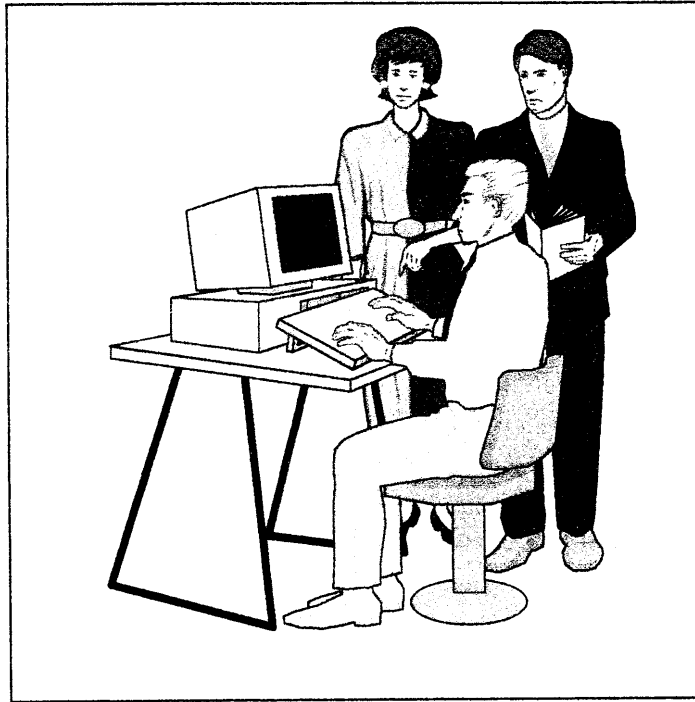
服部庄三



イギリス通信 No. 3

<インターネット>

壮行会を盛大にいただきまして（改めて皆様の心からの会に御礼申し上げます）から、およそ一ヶ月後の9月7日名古屋を出ていよいよ赴任と言いたいところですが今回も約一ヶ月くらいで帰国する予定です、ドイツのハンブルグでの展示会に約一週間その他此方のセールスと共にヨーロッパの客先も周っていますので、実際英国に滞在している期間があまりありません、なかなか英国便りにならなくて申し訳ありませんが先は長いのでもう少しお待ち下さい。さて私がいまさらインターネットのことを説明つもりはありませんが、このところの海外を含めた出張が多い生活の中で利用者の一人として感じた事を少し述べさせていただきたいと思えます。私の日本での勤務先会社でも2年くらい前から社内LANを試行し今ではほとんどの連絡や、案内がメールにより行われるようになりましたが未だインターネットの必要性はあまりありません。ところが合弁会社の相手先では世界中がインターネットのメールリンクの中で繋がっている為にその中にはいらないと業務上の連絡がタイムリーに取れないことと、出張先のホテルでFAXを頼むとA4一枚で日本円で安くて400円高いと800円くらい取られる事や、海外電話代も下手をするとホテル代より高く付く事もあるなど経済的な理由もありました。



インターネットによるメールを始めて良かった事は、タイムリーな連絡が特に時差のある海外とのやり取りには、此方で昼間に打つとあくる朝には回答が入ると言うようなことが出来るようになりました。経済的にもほとんどその国の市内電話料金で何処でも繋がります（勿論プロバイダーの接続料金は要りますが）のでかなりの節約になります、また海外でも主用都市では日本の

新聞が買えますが（但し一部四-五百円位します）地方に行くとはりません、この点では新聞社の開いているホームページを見れば日本と同様な情報が得られます。一人で旅をしていると日本からのメールに何か懐かしい感じも受けたりします、私も通信を始めるまえ

にはパソコンでのやり取りなど無味乾燥なものと思っていましたが不思議なものです。（すでに‘オタク’化し始めた?）

逆に悪くなったところは、何処にでもパソコンを毎日持ち歩かないとならない事、最近では携帯用のプリンターまで出張道具になりましたあれこれ含めて荷物が増えた事です、また携帯に便利なパソコンは小さいので年寄りには大変見にくくまた、打つのも肩がこることです。

時には一敗飲んでから（やめれば良いのですが付き合いとしてどうしてもと言う事もあります。）メールを読んで回答すると言うような事もあり睡眠不足になりがちです、これは新幹線が出来て便利になった反面一日が伸びたのと同じような事でしょうか。

1998年10月1日

Nafaya GRAMPUS

いずれにしても今の仕事で飯を食うと言う限り当分縁の切れない存在となりました。ところでパソコン通信は電話を通じてやるのですが、電話につなぐにはモジュラージャックと言う電気のコンセントのようなものをつなぐ必要があります、日本のものはアメリカとは一緒ですがヨーロッパはほとんど国により形が違い直接接続は出来ません、この為にアダプターを売っていますが主要国だけでも10種類くらいあり弁当箱くらいのケース付きです。

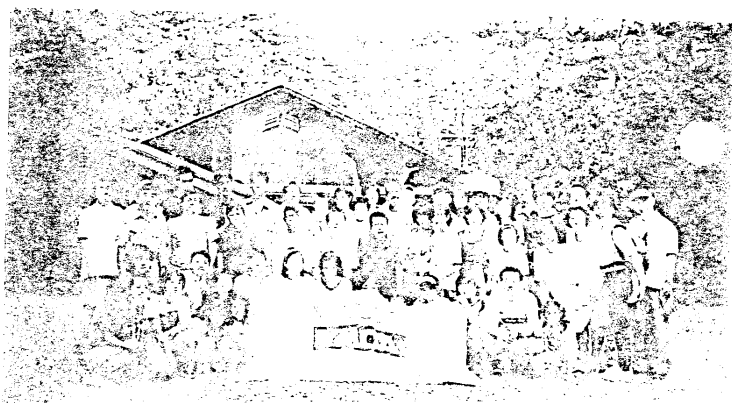
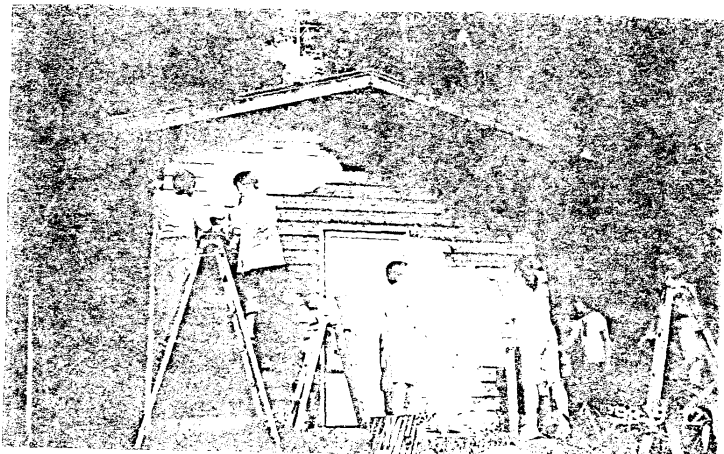
よくもまあこれだけ違うものを近いところで作ったものだと感じます、フランスのものなどおもちゃのハーモニカくらいあります。そのうち通信も携帯電話（これはヨーロッパ共通）でやる事が世界中で当たり前になるのではないかという気もします。あれこれ述べましたがやってみて初めて少し色々判ったと言うのが実感ですまだまだ知らないことがいっぱいありそうです、世の中が大きく変わろうとしている今、これからの社会では好むと好まざるとにかかわらずインターネットに代表される新しい通信システムなしでは考えられなくなるような気がしている昨今です。英語とパソコンが私の当分の課題です。

（この原稿もトラちゃんにロンドンよりメールで送りました）

9月24日吉田一誠

HAPPY BIRTHDAY

2月 2日 吉田 剛
13日 三井 由利子
15日 三井 加奈子
25日 坂倉 史輝



あとがき ー根の上まつりによせてー

岐阜県の根の上というところへ出でかけました。「根の上キャンプ場を愛する会」というのがありバーベキューをしてきました。このキャンプ場は老朽化のために別の土地へ移され、その土地に愛着する人たちのもとに現在運営存続しています。

「45年前にはこの松の木はぼくらの背丈ほどでした。」と説明があり
その見上げる松を眺めたとき、また崩れそうなバンガローのきな臭いにおいに
ふっと、45年間の時間と歴史を感じました。
そして、そこでキャンプをしてきたおじさん達の

「思い出の塊」
がもう誰もこないようなこのキャンプ場を守る原動力となっている気がして感動しました。

と、感に浸っていた帰り道
車のブレーキが壊れて（原因不明）あーこわかった

（と・か）